

平成29年度第1回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成29年11月27日（金）10時00分～12時00分
- 2 場 所 さぬき市役所2階203会議室
- 3 出席者 【委員】石塚委員 大塚委員 岡林委員 尾崎委員 田中委員 中澤委員
西尾委員 三井委員 吉田委員 吉田委員 頼富委員
- 【市】大山市長 【事務局】総務部政策課 谷課長外2名
【傍聴】1名
- 4 会議次第 ※委嘱状交付
1 開会
2 市長あいさつ
3 自己紹介
4 会長・副会長の選任について
5 諮問書交付
6 議題
（1）第2次さぬき市総合計画中期基本計画の策定に向けて
（2）市民アンケート調査について
7 その他
8 閉会
- 5 配布資料 参考 第2次さぬき市総合計画中期基本計画の策定に向けて
参考 さぬき市総合計画のための アンケート調査ご協力をお願い
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	(10:00) 会議に先立ち、市の附属機関等の会議の公開に関する指針に基づき、本日の会議の公開、非公開について決定をさせていただきたい。非公開にする協議事項はないと思われるので、公開で行うことに了解をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし。
事務局	ありがとうございます。 大山市長から委嘱状を交付させていただきます。 ●市長が各委員に委嘱状を交付
事務局	ただ今から平成29年度第1回さぬき市総合計画審議会を開催いたします。 会開にあたり、大山市長からご挨拶申し上げます。
市長	<市長挨拶>

事務局	委員の皆さんは、今回が初顔合わせとなりますので、簡単な自己紹介をお願いします。
委員	<自己紹介>
事務局	ありがとうございます。 続いて事務局の自己紹介をしたいと思います。 <自己紹介>
事務局	次第に沿って「会長・副会長の選任」を行います。さぬき市総合計画審議会条例第4条第1項の規定により、会長・副会長は委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。 特に意見がなければ、事務局の案を申し上げてよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
事務局	ありがとうございます。 それでは、会長を吉田憲一委員、副会長を中澤恵子委員にお願いしたいと思います。
委員	<拍手>
事務局	続きまして、大山市長から諮問書の交付を行います。審議会を代表し、会長に就任いただいた吉田会長にお受け取りいただきます。吉田会長、その場にご起立をお願いします。
事務局	●市長から諮問書を交付 それでは、会長・副会長の座席の移動と、会の進行の打合せを行いますので、暫時休憩させていただきます。 大山市長は公務のため、ここで退席します。 <休憩>
事務局	会議を再開します。 吉田会長からご挨拶をお願いします。
会長	<会長挨拶>
事務局	条例第5条第3項の規定により、会長が会議の議長を務めることとなっておりますので、これよりの進行は吉田会長をお願いします。
会長	それでは、議事を進めます。 本日の会議ですが、11時30分を目途に終了したいと考えておりますので、ご協力をお願いします。 議題1「第2次さぬき市総合計画中期基本計画の策定に向けて」について、事務局から説明をお願いします。

事務局	<事務局説明>
会長	ただ今の説明に関し、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。 基本的には、前期基本計画をベースに中期基本計画を検討するという事で、内容が重なることもあり得るのですね。
事務局	はい。第1次総合計画と第2次総合計画の大きな違いは、P42～44の「重点プロジェクト」です。これは、前任の委員の皆さんから、横串を通して市全体として進めていく取組も必要であるという意見が多くありましたので、2つの重点プロジェクトを設け、取組を進めてきました。 このような横串を通すプロジェクトは、第1次総計にはなかったものです。今回も同様に、前期基本計画を全部差替えなければいけないというわけでも、全く一緒でないといけないというわけでもありません。おおむね踏襲だがこれはこうしたほうがいいのか、など、時代の流れを踏まえた一部変更のご意見を中心に、幅を持たせて議論いただきたいと思っています。重点プロジェクトについても、中期基本計画でも設定するか否か、内容をどうするかなど、皆さんと意見を交わせればと思っています。
会長	ほかにございませんか。 総合計画を進めるためには予算の裏付けが必要だと思うのですが、予算措置についてはどのように考えればいいのでしょうか。
事務局	実施計画書をご覧いただければわかるのですが、それぞれの基本目標ごとに関連事業が紐づいています。予算を決めるときには要求根拠が必要となりますが、その1つとして、総合計画のこの目標の達成に向けてこれをこうするためにこれだけの予算が必要だ、という説明も行っています。総合計画と各事業が全く離れたものではない、ということをご理解ください。
会長	意見は何でも出せばよいが予算はない、というわけではないということですね。
事務局	はい。
会長	基本的には市の財政の中に組み込まれるという考え方ですね。
事務局	はい。ですが、予算決定には市議会の議決も必要となりますので、審議会委員の皆さんが提案されたことが全て予算化されるというわけではありません。
会長	ほかにございませんか。
委員	Q4「今後のスケジュールの概要」について「市民の意見を伺う機会」とありますが、先ほど2,500人を対象にするとおっしゃっていましたが、どのようにするのですか。
会長	その件については、議題2で詳しく説明します。他のご感想やご御意見をどうぞ。
委員	大規模すぎて実感があまりなく、難しいです。

委員	<p>周りをみると進学で県外に出て帰ってこない人が多いので、戻ってきてもらえるようなまちにしたいという希望はあるのですが、そのためにすべき具体的なことまでは考えられていません。</p>
会長	<p>さぬき市だけでなく、香川県の問題でもありますね。</p>
委員	<p>まち・ひと・しごと創生有識者会議でも申し上げましたが、他の自治体も同じような取組をしている中で、さぬき市をより魅力的だと感じてもらうには、ターゲットを絞る必要があると思います。行政がターゲットを絞るということが好ましいかどうかという議論も出てくるとは思います。全世代男女問わずまんべんなくいいことを、となると、何が特徴なのかわからなくなる。少しスパイスを効かすような施策が必要だと思います。それと、全部局がいいことをよーいドンで始めるのですが、具体的な施策を見たときに上位アクションがどれなのかが分かりづらい。会長がおっしゃったように、財源の問題なども出てくるとは思います。こういうことが、こういけば、こういう財源が生まれてくるから、こういうのもプラスアルファできるという順序立て、体系化の整理をする必要があると思います。この部局が何かに取り組んでいるときは、こっちの部局は何もしない、という意味ではなく、連携がうまくいっていないことがあるので、個別にどういうものがあるのかという議論が必要だと思うのです。例えばP17の「優先度 高」の「1-⑥ 雇用の場の確保と労働環境の充実」だと、それを行うと「人の問題」がでて、「税収が増え」、「子どもも増える」から、次に「教育は」となる。「移住の促進」だと「高齢者の問題」が付随してくる。今の住民に対する最低限のサービスの確保という部分と、平成38年度の人口を何人にするということにおいて、最重要テーマとして掲げるべきものを5つくらい選び、この5つを達成するために、付随してくるのがそれぞれこの5つの取組や事業である、というふうに体系的にまとめられたらいいと思います。</p>
事務局	<p>今おっしゃっていただいた意見は、この審議会としての答申内容の肝となるご意見だと思います。重点プロジェクトで表現していただくイメージが強く残りました。基本計画の中にある個別の基本目標別計画（P45以降）につきましては、さぬき市には様々な市民がいらっしゃるの、広い、薄いと言われようとも必要なことを継続する方針です。しかしながら、緊急課題に対してスピード感を持って取り組むべきと思うこともありますので、重点プロジェクトとしてまとめていただくと、アピール度が高まると思います。</p>
会長	<p>意見をまとめると、1つは、県外に出て行った人が戻りやすいまちにするということと、もう1つは、他市と比べて、さぬき市はこういうことに特化しているという特徴を出すということが重要というところでしょうか。</p> <p>例えば、さぬき市には徳島文理大学があることを、もっと特徴として捉えて活用すればいい。また、四国遍路上がり3か寺がある。これはさぬき市としてのステータスになる。ウォーキングに収まらずに、もっと大々的に「へんろファイナルマラソン」ができれば面白いのではないかと思います。</p> <p>そして、日本は航空機産業が遅れているように思いますが、2030年度には名古屋で、MRJという国産ジェット機が初めて飛ぶ予定です。加工する会社は、今までの10倍以上は必要になってくるとは思います。さぬき市が会社に掛け合って、どういうニーズがあるかを知れば、それに応えられる事業所が存在する可能性はあると思うのです。また、リハビリ等、高齢者福祉設備を開発する会社を盛り立て、大学と一緒にアピールするなど、委員がおっしゃっていた特化したもの、他市と違うというものが2つ3つあればいいのではと考えています。他にありませんか。</p>

委員	<p>地元の人がいいと思うものと外部の人から見ていいと思うものが、必ずしも一致していない。例えばカリフォルニアの人からすれば、海の中に島があることがあり得ない光景なのに、地元の人、瀬戸内海は島があつて美しいと思つていても、改めてそれを生かす考えを持つかという点あまりない。外部の人にアピールするとき、いい食事のもてなしや、どこかへ連れて行つてもピンとこないことが多い。きれいに観光ナイズされたうどん屋より、立つて食べるようなうどん屋に連れて行つたほうが、さぬきのうどんを食べるといふ感覚からにマッチする。まちをどうPRするかという部分で、もう少しマニアックなセレクトをする。どう頑張つても1億人も呼べないので、100人でも200人でも呼べるような、1歩でも2歩でも前に出たような計画が必要だと思ふ。</p> <p>軽井沢は、新しくできたショッピングセンターや近隣の喫茶店など、どこもペット連れが可能でした。ペットと一緒に食事をしたり、ショッピングセンターの真ん中でドッグランさせたりして、圧倒的にペットを連れた家族連れが多く来ている様子でした。ペットを飼っている人がターゲットではないが、飼っている人をよりターゲットにするようなものを、まちをあげて歓迎している。そのようなキーワードが、まちの特色を出す上で非常に大事だと思ふので、その何かを皆さんと考へていきたいと思ふます。</p>
委員	<p>P36の「12年後の目指すべき人口規模」について、だんだんと人口が減少していくことが示されています。11月2日と9日に市政懇談会が開催されたのですが、そこで市長は、人口減少を強調していました。山間部は家や田を放つたまま、都会に出ていく人が多く、空き家と耕作放棄地が増えてきている。空き家の持ち主と話をしたら、「家も土地もタダであげるから、好きにしてください。」という答えが返つてきた。市で空き家対策はしているのでしょうか。年々増えてくる問題であり、限界集落から消滅集落になりそうな地区もあります。大川ダムの奥の地域では、1軒しかない自治会もあるのが現実なので、人口対策も必要だと思ふます。</p> <p>今後のスケジュールですが、「市民アンケート調査」と「パブリックコメント」とありますが、私たちは、これらの結果に基づいて議論していくのですか。</p>
事務局	<p>そうではないです。パブリックコメントは、答申いただいた後に行います。</p>
会長	<p>議題2「市民アンケート調査について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
会長	<p>全体的に、先ほど議論した「さぬき市に特化したもの」があまりなく、どこの市でも通用するような内容のように思ふますが。</p>
事務局	<p>P15(問27)は、新しい取組につながるような独自感が高い質問だと考へていますが、それ以外は、現在の各種の取組について市民がどう思っているのかを把握することを目的として設計していますので、全国の自治体の事業に大きな変わりがないことを踏まえれば、そう見えることは仕方ないかと思ふます。今回は、現状を踏まえ、「こういう傾向が出たが、それを強めていくには今までのやり方ではいけないから、これを優先して取り組む」ということを議論するためのデータにしたいと考へています。アンケート結果とは別に、前期基本計画の達成度調査結果も準備しますので、「この結果はこの事業に関連が深いですが、達成度の進捗が悪いので取組を強化する必要があるのではないか」というように、いろいろな形でクロスをかけていきたいとも考へています。新しい視点で見直すことで、市の特徴を洗い出す。そ</p>

	<p>のために新しい中期基本計画を作っていくということです。</p>
委員	<p>年齢層は偏りませんか。</p>
事務局	<p>回答者が結果的に偏る場合は想定されますが、アンケートの発送段階では、無作為で抽出しています。</p>
委員	<p>高齢の方などに届いた場合、代筆も可能なのですか。</p>
事務局	<p>可能です。ご家族から連絡がくることもあります。そのときは、代筆でもかまいませんし、18歳以上の方が代理で回答いただくようお願いしています。</p>
会長	<p>内容について、細かい質問はありますか。</p>
委員	<p>3点ほどあります。</p> <p>まずP4(22)「学校教育の充実」ですが、この質問で学校教育の内容についての満足度や重要度があぶり出されるのでしょうか。学校教育の中には幼稚園・小学校・中学校とあり、幼稚園教育には認定問題などがありますし、小・中学校は基本的に文化が違います。保護者も感じていると思うので、もう少し細分化する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>P10(問17-2)「小・中学校が連携し、一貫したカリキュラムによる教育の推進」についてですが、パッと読むとフレーズが入ってくるが、真実を語っていない。カリキュラムは各学校が決めるものではなく、文部科学省の「学習指導要領」によって、きめ細やかに内容や教え方が決められています。小・中学校が連携して云々という問題ではありません。今まで連携していないことはありませんし、より一層連携することで、効果的な教育が得られるため、こういうフレーズになっていると思うのですが、「小1プロブレム」あるいは「中1ギャップ」問題を意図したものでしょうか。スムーズな連携によって学校教育をより充実させるためには、「接続の問題」という文言があればいいと思います。</p> <p>P12(問22)、私たちが子どもの頃に比べると、子どもの数は減りました。少子化は問題であるとは思いますが、そればかりを考えるのはどうなんだろうと思います。「足りない」や「できない」でなく、質問の中に加えてほしいのは、「足らずを知る(心の豊かさ)」ということ。大規模な都市であれば経済優先、産業振興でしょうが、人口4~5万の田舎のまちが目指すべきものは、それだけではないと思います。経済的な勝ち組ではなく、足らずを知っている心理的勝ち組という考え方も取り入れるべきではないのでしょうか。「幸せ」に感じることは、追い求める夢や理想があることとは思いますが、現実にはそれがなくても生きていける。私たち高齢者で、大きな夢や理想を持っている人は少ないと思いますが、皆さん幸せであると思う。「幸せ」であるための自分の「心の持ち方」のような項目を加えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>P10(問17-2)ですが、おっしゃるように教育の分野だけでも掘り下げようと思うと、この1項目の質問だけでは不十分であり、細分化して質問していく必要があります。総合計画ということで、各分野にわたり問う必要があります。アンケートとして一定のボリュームを絞らないと、記入いただく方に負担をかけるため、これ以外にも入れたい内容もあったのですが、施策ごとに代表的なものをピックアップしています。個々の細分化した質問については、総合計画の下に、教育振興基本計画など分野ごとの基本計画や実施計画があるのでそちらに譲るとして、今回は総合計画</p>

委員	<p>の中で、ある程度の学校教育に関する市民の意向を、1つの質問の中に凝縮して入れる形としています。ボリュームを踏まえ、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>スムーズな接続については、決して今までの連携が十分でなかったということではありませんが、より重視していく必要があると考えている方がマルを入れられるように、「接続」ということがわかる表現に修正させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>P4に関する質問は、撤回します。P10については、わかりました。</p>
委員	<p>ご了解いただきありがとうございます。P10については、委員のご意見を踏まえ、再度検討したいと思います。</p> <p>P12（問22）については、反映を前提に、文言を検討したいと思います。</p> <p>「市民協働による持続可能なまちづくり」というキーワードを入れてはどうでしょうか。将来的に、絶対に予算は減っていく。イベントの見直しなどを通して観光協会なども予算の縮小に取り組んでいます。市民が行政の意向を理解できているのでしょうか。</p> <p>例えば、過去、景気のいい時代に市民の要望で野球場を造ったが、圧倒的に日数を使っていない。あれもこれも造ったはいいが、これを維持・メンテナンスするために相当な額が費やされ、全体の行政サービスが低下しています。これからは、この問題を市民にどう問いかけるかが大事なのではないのでしょうか。どこまでを生活として絶対に保障してほしいのか。建物は老朽化するが、原っぱだとその心配はない。自分たちで草刈りすればいいわけですから。はるか昔はそうであった。それが、ナイターをつけてほしいなど、少し贅沢をした。その贅沢を維持するために、隠れたところで相当なお金がかかっている。そういうことについて、そろそろ問いかけをすべきではないでしょうか。ここには自治会の会長もいらっしゃるの、ここまではコミュニティが受け持つのでここから先は行政に頼む、といったように、線引きをどこですると合意形成が得られるのか、本質的な議論をしていく。すぐ決められないなら、住民と行政が時間をかけて話し合う会を持てばいいと思うのです。いずれにしても、将来の行政をどう賄うかは、その1点だと思います。住民がどこまで自分たちの力でやり、「その浮いたお金をこういったところにまわしてほしい、福祉や子育てにまわしてほしい。草刈りや野球は、自分たちで適当にするから、外部に委託しているメンテナンスのコスト（年間何百万）は社協にまわしてほしい。」という選択をしていかないと、あれもこれも言い出したらきりが無い。そういうことの問いかけ。具体論は別としても、少子化に向けて、「コミュニティが受け持つものが、どういう範囲までなら許容か」、あるいは、「そういうまちは受け入れられるまちですか」というような問いかけがあってもいいのではないかという気がします。</p>
事務局	<p>P10（問17-10）「施設の改修・整備など、教育環境の充実」についてですが、ほとんどの学校が再編で建て直してきれいにしているなか、長尾だけがされていない状況で、地域格差が出ると思います。</p>
委員	<p>学校の新設・統廃合が進み、長尾地区はこれからという状況ですので、この項目については、ある程度意識して入れている。クロス集計を通して、地域別の課題も浮かび上がってくるかも知れません。</p> <p>前期総合計画の策定に携わっていたのですが、市民アンケートの有効回収率は41.9%でした。項目が多すぎるため、回収率が悪かったのではないかと思います。</p>

	<p>P1～5は仕方がないが、P6以降は先ほどから意見の出ている「これに特化する、ここに絞ろう、ここに金を入れてほしい」など、「さぬき市をよくする、住んでほしい、帰ってきてほしいというまちにするため、今どういうことがあなたは必要ですか」と絞ってはどうか。あと、意味のわからないカタカナ表記や文字が小さいなど、高齢者には分かりづらく、回収率の悪さにつながるのではと感じます。</p>
委員	<p>女性団体や教育団体、老人会などの総会の際に配布して、みんなで回答すると確実に回収できると思うのですが。</p>
委員	<p>女性団体連絡会には様々な団体が入っていて、兼ねている方も多いですよね。</p>
事務局	<p>先ほどのご意見にあった、「あなたはなにが必要ですか」という問いについてですが、なにも書かずに問うのか、「企業誘致」や「観光振興」といった回答項目を入れて問うのか、を検討する必要があります。</p> <p>「あなたが1,000万円の予算を持っています。子育て支援や高齢者支援などの取組に対して、あなたなら、どのように予算を振り分けますか、といった質問を考えてみようか、という案もありましたが、回答するには難しいし、年齢によって意見が偏るのではないかと、ということで、今の取組に関する意見を広く伺うスタイルにしています。ベストではないかも知れませんが、ベターではあると思っていますので、項目を並べて聞く場合、こういう項目ではどうかという意見がありましたら、ご提案ください。</p> <p>また、女性団体連絡会の会員にアンケートを配布して回答していただくことに関しては、無作為抽出の市民アンケートとしている関係から、難しいと考えています。</p>
委員	<p>無作為で問うのはいいが、次のステップが大事だと思います。「子育て支援」であれば当事者が一番ニーズを持っている。私も子育てしていた時は、いろいろな不満やニーズがあった。20年経ってよくなってはきているが、このアンケートだけで終わらせず、プラスアルファで当事者に意見を聞く機会があったら、よりよいものになるのではと思います。</p>
事務局	<p>今の意見を伺うなかで、来年度はワークショップなど、もっと内容を深掘りできるような機会を設けたほうが良いと思いました。参考にさせていただきます。</p>
会長	<p>「さぬき市のよいところはなんですか」という質問を加えていただきたい。</p>
事務局	<p>了解しました。</p>
委員	<p>教育面についてですが、さぬき市に大学があるのに、なぜ行かないのか。「大学教育の満足度」や「地域内の高等教育の満足度」というのをどこかに入れてはどうでしょうか。</p>
会長	<p>その質問は、少し時期尚早かと思います。</p>
委員	<p>以前、小学6年生の職場体験で徳島文理大学に行ったことがあります。講演会にもいろいろな方が来られますし、すごく開かれた大学だと思います。</p>
委員	<p>卒業されて、さぬき市で就職される方はいますか。</p>

会長	就職先は、地元の割合が多いですね。
事務局	先ほどの委員のご意見について、(問 16-7)「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」の地域の中に「大学」が入るかどうかや、「大学の学生との交流のイメージ」を入れることができるかどうか検討させていただきます。
委員	地方で「消費者問題」とか「民事紛争」のように表面化していない問題がすごく多い。昔は地域どうしの関係があったから少なかったが、最近はそれが減っているため詐欺にあっても言わない高齢者が多い傾向にあると思います。このような現状を踏まえて社会的な安定性について聞きたいと思うのですが、P3 (9)に入っているとされると、方向性が若干ずれているように思えます。
事務局	暮らしの中での不安の軽減と地域との関係性を問う内容については、地域コミュニティの活性化や、P12からの暮らしの幸福度調査になります。あなたが幸せであるために重要なことは、との質問で、隣近所や地域との良好な人間関係が大事である、との回答が多くあるとか、P13の幸福感を高めるために足りていないことは何か、との質問で、隣近所との良好な人間関係が足りていないとの回答が多く上がってくれば、良好な関係性を深める取組の重要性が現れてくると思いますが、いかがでしょうか。
委員	<p>インフラがよくなり、高速が充実し、さぬき市に移住してもらおうと、次に職場が必要となる。少し発想を変えると、住むのはさぬき市だが、高速料金をいくらか補填して、高松であろうが西讃地域であろうが、高速に乗ると30分で職場にいけるまちですよとなる。それがいいかどうかは別として、考え方の概念として、入れ物をよくして「ここで就職をして、ここで生活してもらおう」と欲張らなくてもいい。通勤が不便だからからさぬき市には住めないというなら、こういうメリットがありますよ、と。そうすると、住むのはさぬき市、働くのは坂出市でもいいわけですよ。さぬき市のよさをPRする概念をもう少し広げて、いいところは「今あるいいところ」ではなく、見方を変えれば「住むことだけで考えればさぬき市はいいところ」とか「勤めることを考えればいいところ」とか。これが「ターゲットを絞る」ということだと思うのです。県外から移住してきて働き場所が必要となっても、エリアを広げればある。香川県内の事業所に勤めるということにおいて、その拠点としてのさぬき市というのはいいですね、と。</p> <p>都市部でどういうふうにもちが進展していくかということ、大動脈としての私鉄の存在が重要です。私鉄が沿線に線路を引っ張り、主要駅の近くに宅地を開発していく。主要駅には特急を走らせる。遠い所だけど、特急に乗ると大阪の市街地に20分~30分で行けます。人が集まっていくと生活環境も徐々に整っていく。さぬき市で全てを行うのは時代的にも無理でしょう。インフラなど、いろいろなものを活用する中で、特色を出せるようなメニューが組み込まれるべきではないでしょうか。少子化はさぬき市だけの問題ではなく、国として止まらないわけで、そのような中で人口を取り合おうとしているわけですから、なかなかハードルが高いのは当たり前。もう少し、考え方を逸脱すると違った答えが出てくるのではないかと思います。</p>
事務局	委員がおっしゃるように、全てをさぬき市で賄うのは財政的にも現実的ではないので、行政としての役割をもう一度考え直し、次期計画で打ち出していければ、と思っています。直接的な人口減少対策であるP7の「定住促進」(問8)で言えば、今は、近隣自治体同士で人口の取り合いに勝てるよう、奨励金という名のバラマキ

	競争になっている節も見受けられます。今回のアンケートを通した市民の意見も踏まえながら、現行の取組も見直していきたいと思っています。
会長	次回審議会について、事務連絡をお願いします。
事務局	<p>今回は、来年5月頃を予定しています。</p> <p>来年度の審議会は4回程度を考えています。第1回目となる5月は、市民アンケートの結果報告や前期基本計画の評価検証の方法、ワークショップの内容等について議論させていただきたいと思っていますので、引き続きよろしくをお願いします。</p>
委員	次回も冊子は必要ですか。
事務局	はい。
会長	以上で、第1回さぬき市総合計画審議会を閉会します。(12:00)